

年 組 名前:

ピアノ歴35年 初の独奏会



自宅のピアノで練習する篠原総さん
＝甲府市貢川本町

3日、篠原さん 毎日練習、夢かなえる

甲府市貢川本町で電気工事業「篠原電研」を営む篠原総さん(65)が、3日に初めてのピアノリサイタルを開く。当時3歳の長女の送迎をきっかけにピアノを習い始めて35年。気の利いた年寄りになりたいとの思いから練習を続け、周囲の後押しで、当初から思っていたソロコンサート開催という夢の実現に近づけた。和気あいあいと楽しんでもらえるようにしたいと準備を進めている。

篠原さんは長女と一緒に、30歳でピアノ教室に通い始めた。楽譜も読まず、入門用の教本「バイエル」を使って練習をスタートした。当時から「30年後にはソロコンサートをやりたい」と周囲に言っていたといい、年配の教室仲間からもほっぺをかけられ、開催を断られたという。

開催を決めてからは、時間があればピアノに向かっている。「いくら練習しても切りがない」が、澄んだ音色で間違えないように、速さにも気をつけながら練習する。当日はトーンを挟みながら進行し、「エリーゼのために」や「カノン」など7曲を披露する予定だ。

テニスやスキー、大型バイクに乗ること、サッカー・ヴァンフォーレ甲府の応援など趣味は多彩で、当日は多くの仲間が足を運んでくれる見込みという。知人の協力を得て、チラシや鍵盤形のチケットも制作した。「一生懸命な姿を見てもうい、あまりピアノの演奏を聞く機会がない人も楽しめるものにした」と話している。

コンサートは3日午後2時から、甲府・YCC県民文化ホールで開催。入場無料(要チケット)。問い合わせは篠原さん、電話090(3062)8000。

問1

甲府市の篠原さんが、35年前に

ピアノを習うきっかけとなった理由を

教えてください。

(2023年11月1日付 山梨日日新聞14面)

問2

篠原さんは、どのような練習で、上達したと振り返っていますか。

問3

篠原さんは、初めての独奏会をどのようにしたいと考えていますか。